

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私が同志社女子大学を志望する決め手となったのはオープンキャンパスです。キャンパスを見学していると、先輩方が親切にして下さりました。同志社女子大学でなら、学びながら楽しい学生生活が送れると思い受験しました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

学校の授業が受験対策に対応していたので、まずは授業をしっかり受け、課題もきっちりや、ていました。部活や体育祭の準備もあったので、夜は短時間の勉強をし、朝早く起きて夜にやりきれなかった勉強をしていました。

〔夏休み〕

英語は文法、語法、イディオムをそれぞれ一单元ずつと短めの長文を一文解くことを日課に、過去問を少しずつ解いていました。国語は小説は得意だったので、評論を一日一題解いていました。学校がある時に比べて時間があるので、社会の暗記に夏休み中は特に時間を使いました。

〔2学期～入試直前〕

夏休み中にやっていた日課を系統けながら過去問とそのやり直しを中心に勉強していました。夜遅くまで勉強するのは向いていなかったなので、夜は早めに寝て、朝に勉強する生活を送、ていました。学校では授業中はまじめに授業を受けて、休み時間は友達と話してリフレッシュしていました。入試が近づいてくると学校を休みだす人もいましたが、勉強だけで頭をいっぱいせず、普段通りの気持ちで過ごすことが大切だと思えます。心も体も健康でいつも通りの生活を送、て入試までの時間を過ごしました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

正直、勉強は時間をかけて一生懸命や、ていても味気なく感じることもありました。そんな時、グツグツ小さくなくても行事に参加するとは充実しているという気持ちを与えてくれて、勉強のモチベーションも上がった気がします。健康面では入試は夜にはないので、必ず朝型の生活を送りましょう。エトメに関してほとこも好きなので、勉強が終わったら一本だけ動画を見て寝るなど自分の中でルールを決めていました。上手いかわいもない時も好きな音楽を聞きながら体を動かすことで、気分が爽やかなりして良かったです。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私は自分に自信がなくていつも、もっとがんばらなければいけないというタイプでしたが、それが実際、がんばり続ける理由になっていました。だから、模試などで上手くいっても油断せず、謙虚にがんば、て下さい。